

「うめきた2期の開発について」

大阪市 都市計画局 うめきた企画担当部長
高田 滋美

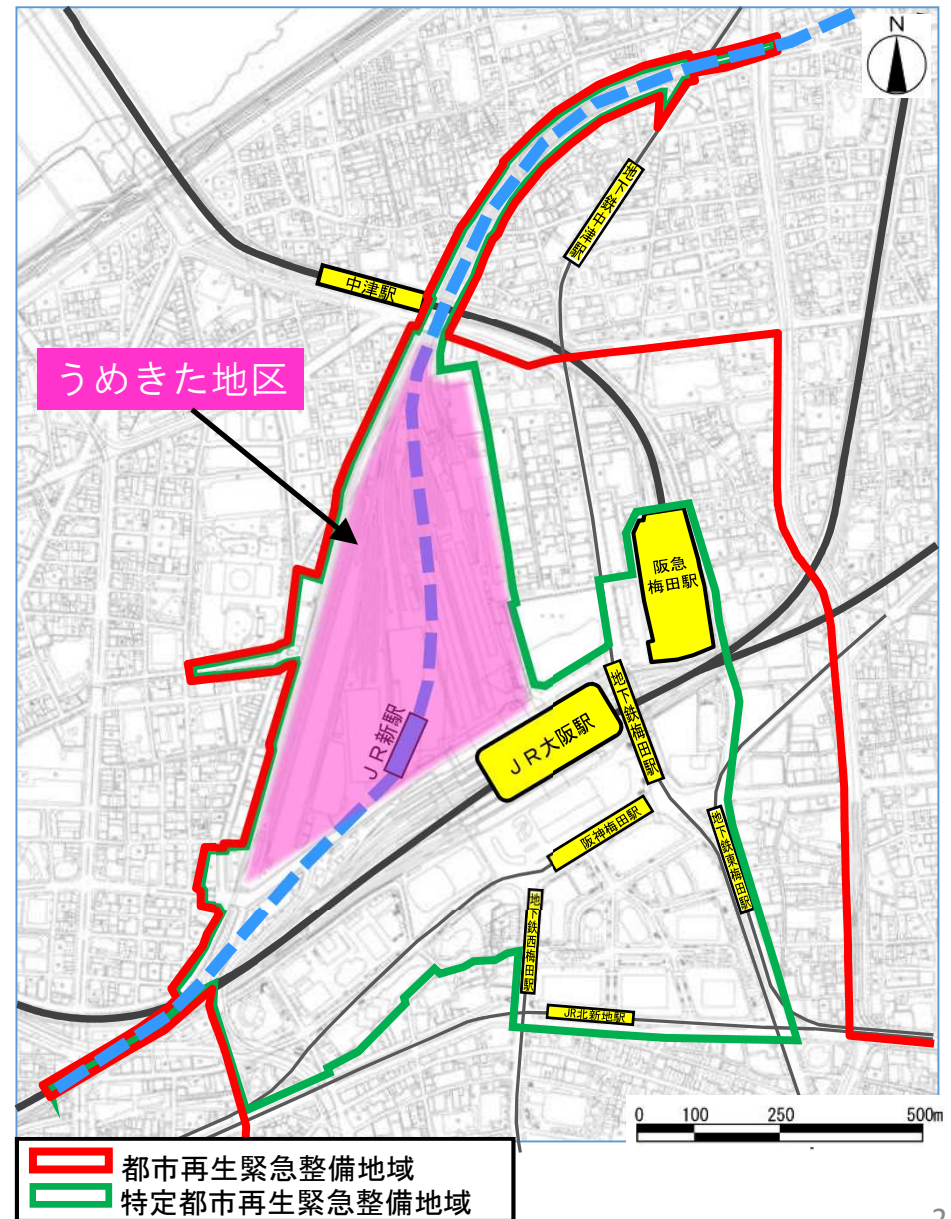
平成29年12月20日

うめきた地区の概況



出典：ナレッジキャピタルハンフレット((株)ナレッジ・キャピタル・マネジメント)

うめきた地区周辺は、JR・阪急・阪神・地下鉄3線、9駅が乗り入れ、1日240万人の乗降客が行き交う西日本最大のターミナルであり、関西の業務商業機能が集積している。



開発前のうめきた（2004年）



現在のうめきた（2017年）

平成29年7月撮影

うめきた先行開発区域
（グランフロント大阪）
《約7ha》

JR大阪駅

うめきた2期区域
《約17ha》

2期区域の基盤整備事業

JR東海道線支線地下化事業(連続立体交差事業)及び新駅設置事業

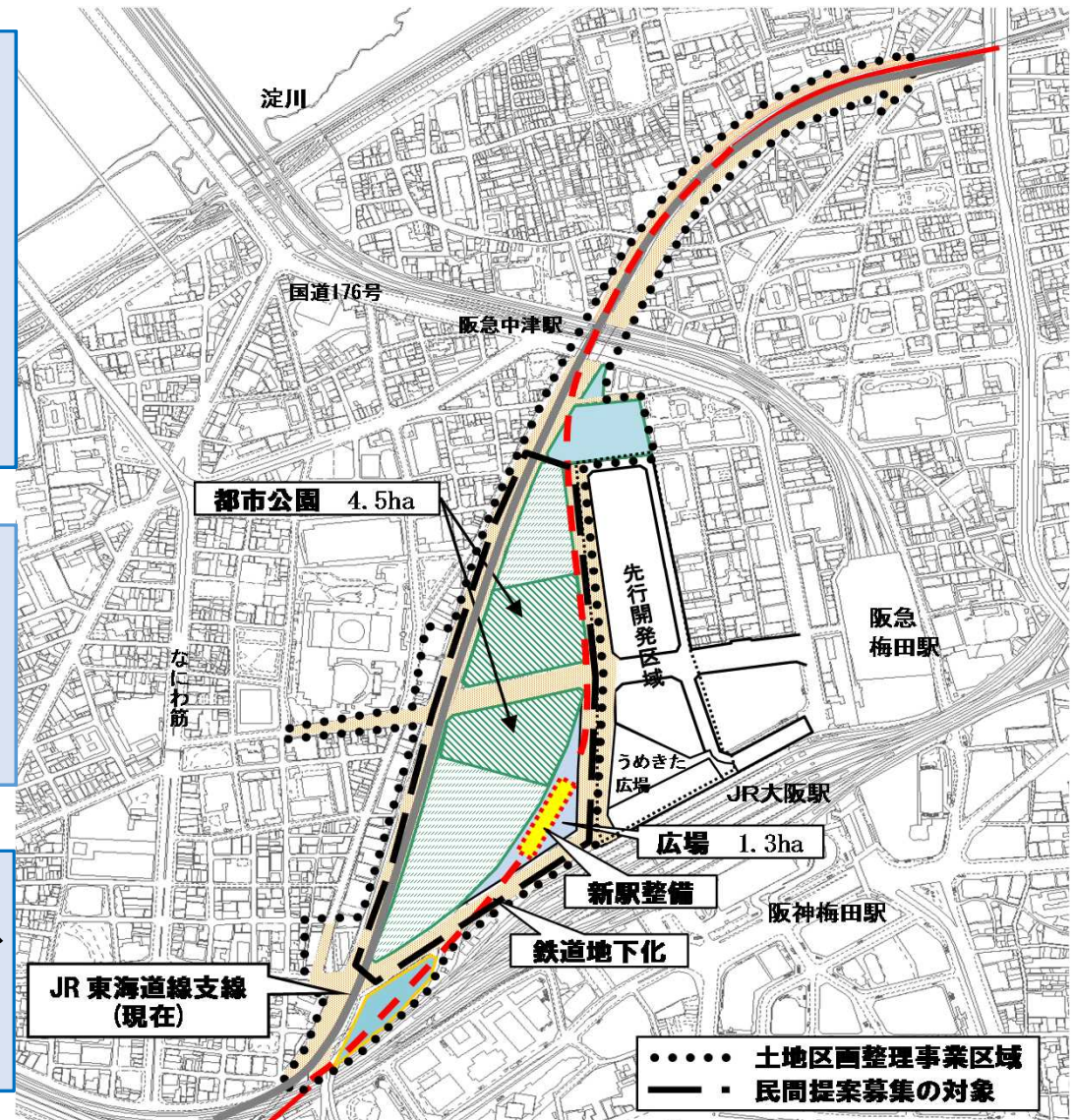
- 地域分断の解消及び踏切除却による交通の円滑化
- 関西国際空港への移動時間短縮(現状66分→約20分短縮)
- 事業主体：大阪市(地下化)
JR西日本(新駅)
- 事業期間：H26年度～H35年度

土地区画整理事業

- 民間開発の基盤となる道路・広場等の整備
- 事業主体：UR都市機構
- 事業期間：H27年度～H38年度

防災公園街区整備事業

- 防災機能を備えた緑豊かなオープンスペースの確保による高質な都市空間の演出
- 事業主体：UR都市機構
- 事業期間：H30年度～H38年度



2期まちづくりの目標 ～「みどり」と「イノベーション」の融合拠点～

＜未来志向のライフデザイン・イノベーション拠点＞



世界の人々を惹きつける
比類なき魅力を備えた「みどり」

まち全体を包み込む「みどり」が
ここにしかない新しい都市景観
を創出し、多様な活動、新しい
価値を生み出す源となり、世界
の人々を惹きつける

他に類のない
参加型・屋外型
実証フィールド

新たな国際競争力を獲得し、
世界をリードする「イノベーション」の拠点

世界からの人材、技術を集積・交流させ、
新しい産業・技術・地財を想像すること
で新たな国際競争力を獲得し、我が国
の成長エンジンとして世界をリードする
「イノベーション」の拠点となる

～導入する都市機能～

新産業創出

～新たなビジネスチャンスの創出～
参加型実証研究、ビッグデータ活用、プレマーケティング

国際集客・交流

～まちと一体化する交流空間～
屋外空間も活用したイベント・展示、レセプション

知的人材育成

～交流による多様な気づき～
プロジェクトを通じた学び、実践的プログラムの実施

先行開発区域における取組み（大阪イノベーションハブ）

国際展開

国際イノベーション会議(Hack Osaka)

- ・全編英語による国際会議を開催
- ・国内外からインパクトの強い著名な起業家を招聘し、大阪の取組みを世界に発信
- ・投資家や起業家など参加者は700人超



人材発掘・イノベーション支援

OIHで実施するプログラム

◇イノベーション人材のコミュニティ形成

- ・専門性の高いワークショップ、イノベーション関連の講演等により、多様な人材を集め、コミュニティを形成

◇プロジェクト創出プログラム

- ・ベンチャー企業と既存企業をつなぐピッチイベント（年50回以上）
- ・ハッカソン（ITエンジニアやビジネスプランナーなどによるチームを編成、短期間でプロトタイプを作成）によるきっかけづくり
- ・技術提案型イベント（大企業のニーズに対し、ベンチャー企業等が新製品・新技術を提案）により新たな価値を創出
- ・起業家マインド醸成、スキル獲得をめざす教育プログラム

人材発掘・イノベーション支援

海外ワークショップ

- ・参加者を公募、事前研修のうえ、イノベーション先進地域（シリコンバレーや深セン）に派遣、実践的な体験型・参加型プログラムを実施
- ・新規事業創出の担い手となる若者の「起業家マインド」を醸成



◇OIHシードアクセラレーションプログラム



- ・起業経験者、大企業、ベンチャーキャピタル、メディア等の支援者（メンター）による、シード期ベンチャー企業の事業化加速支援プログラム

成果（第1期～第3期30社合計）

資金調達	⇒	16億円
事業連携	⇒	9件
メディア露出	⇒	74回



うめきた2期の中核機能 「関西の新技术を人に繋ぐ」

□技術の「橋渡し」役を担い、事業化をスピードアップ



- ・うめきた1期では、起業家をはじめ多様な人材が集積。ITやサービス分野でビジネスを創出
- ・うめきた2期では、1期での活動を活かしながら、関西一円の研究開発拠点・大学の新技术を、多様な人材に「橋渡し」する機能を実現し、新技术を基に事業化を図るプロジェクトチームを次々と組成
- ・そのため、うめきた2期に技術と人が集まる『イノベーションプラットフォーム』を構築。技術と人のネットワークの構築に中心的役割を果たす総合コーディネート機関の設置と、イノベーション創出を支援する国の機関等の誘致により、研究開発から実用化まで切れ目のない支援の機会を提供

研究開発拠点・大学等

うめきた2期

うめきた1期

・研究開発プロジェクト組成、管理
(人材ネットワーク、ニーズマッチング)
・活動用ラボ、フィールドの提供

・国等の公的資金供給
・ビッグデータ利活用、社会実験

・起業支援(交流促進、インキュベーション・オフィス提供)
・VC等による事業化資金供給
・マーケティング、プロモーション

基礎研究

実用研究開発

試作・実証研究

起業・新たな事業化

新産業創出機能の実現に向けて — 推進協議会の取り組み —

うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 — 平成29年6月20日設立 —

まちびらきに先駆けて、地域(※)が主体となった協議会を立ち上げ、平成29年度より、先行的・具体的なイノベーション創出活動を推進 (※関経連・大商・府・市・UR都市機構・大阪科学技術センター)

活動目的

国際社会における**関西経済の競争力強化を図るため**、広く関西一円の研究開発拠点等における卓越した技術と人を繋ぎ、**新産業創出を加速するしくみを構築する**など、うめきた2期における「みどりとイノベーションの融合拠点」形成を推進する。

活動内容

うめきた2期におけるイノベーション創出のしくみ作りのため、主に下記の活動を実施

○新産業創出機能を形成する「**パートナー**」との**連携**関係構築

海外のイノベーション拠点や関西の研究開発拠点・大学、企業等とのネットワーク構築

○多くの人の関心を高めるための**情報発信・プロモーション**

うめきた2期(中核機能)のプロモーション活動、協議会活動成果の発信

○**プレプロジェクトの新規企画**、国費(研究開発助成等)の獲得支援等

新産業創出機能の実現に向けて – 推進協議会の取り組み –

うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 今年度の具体的活動

設立記念シンポジウム – 8月2日開催 –



グランフロント大阪カンファレンスルームにて開催。

文部科学省や経済産業省の審議官等をパネルに招き、都心でのビッグデータの収集や利活用の可能性などについて討論。

2期区域のまちづくりへの期待から、250人を超える聴衆が来場

海外とのネットワーク構築事業

～ うめきた2期未来シンポジウム ～
– 12月4日開催 –



メイヨースポーツセンター(ミネアポリス)、メルボルンヘルスアクセラレーター、teckUK(ロンドン)から、特徴的なイノベーション拠点の運営に携わるキーマンを招聘。

関西のポテンシャルと海外事例から、うめきた2期のイノベーション拠点機能に必要なしくみなどについて討論。280人が参加

新産業創出機能の実現に向けて – 推進協議会の取り組み –

イノベーションストリームKANSAI 2018 ～うめきた2期から未来へ～

■テーマ

関西の叡智をつなぐライフデザイン・イノベーション拠点、うめきた2期 始動！

イノベーションストリームKANSAI 2018は、うめきた2期のテーマである、『ライフデザイン・イノベーション』に沿って、「関西の拠点の技術に繋がる・人に繋がる」といううめきた2期のまちのコンセプトを先行的に体験できる、関西の新技术の展示・体験会。

新産業創出のための国際イノベーション会議『Hack Osaka』などと共同開催することで、多様な分野にまたがる出展者や来場者間の交流や連携を促進する。

■開催概要

開催日 平成30年2月26日(月)、27日(火)

開催場所 グランフロント大阪 コングレコベンションセンター ホールB・C、ルーム7・8・9

同時開催 JSTシンポジウムin大阪、EDGE-NEXT KANSAI シンポジウム、
国際イノベーション会議Hack Osaka 2018

出展内容 【大規模出展ブース】

JST支援プログラム(センターオブイノベーション(COI)、リサーチコンプレックス)採択拠点
京都大学COI、大阪大学COI、立命館大学COI

けいはんなリサーチコンプレックス、神戸リサーチコンプレックス

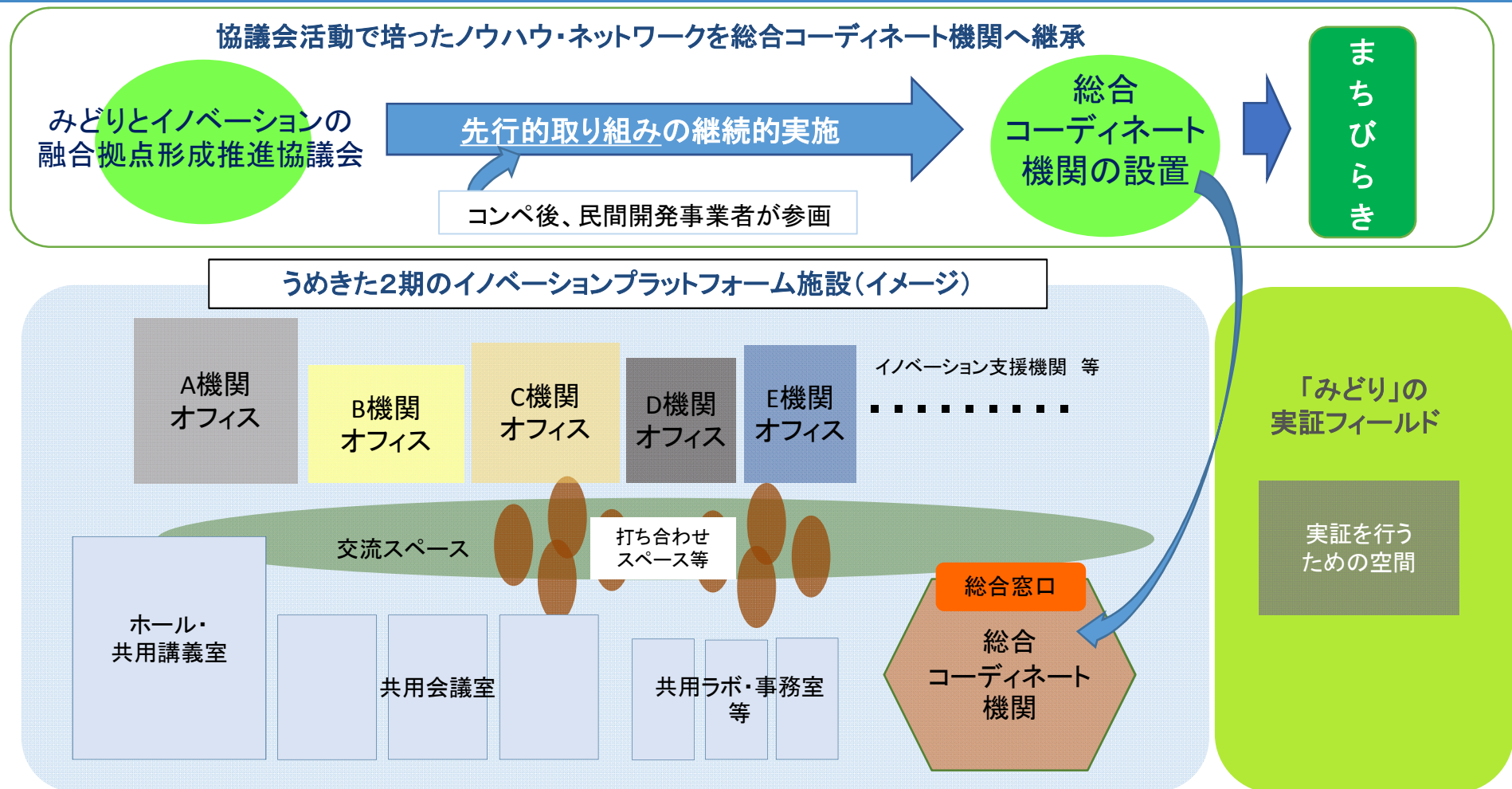
【一般出展ブース】

大阪府立大学、大阪市立大学、関西大学、大阪工業大学、関西学院大学、NEDO

【セミナー会場】

関西の最先端研究や産学官連携、イノベーション創出に関するセミナーを多数開催

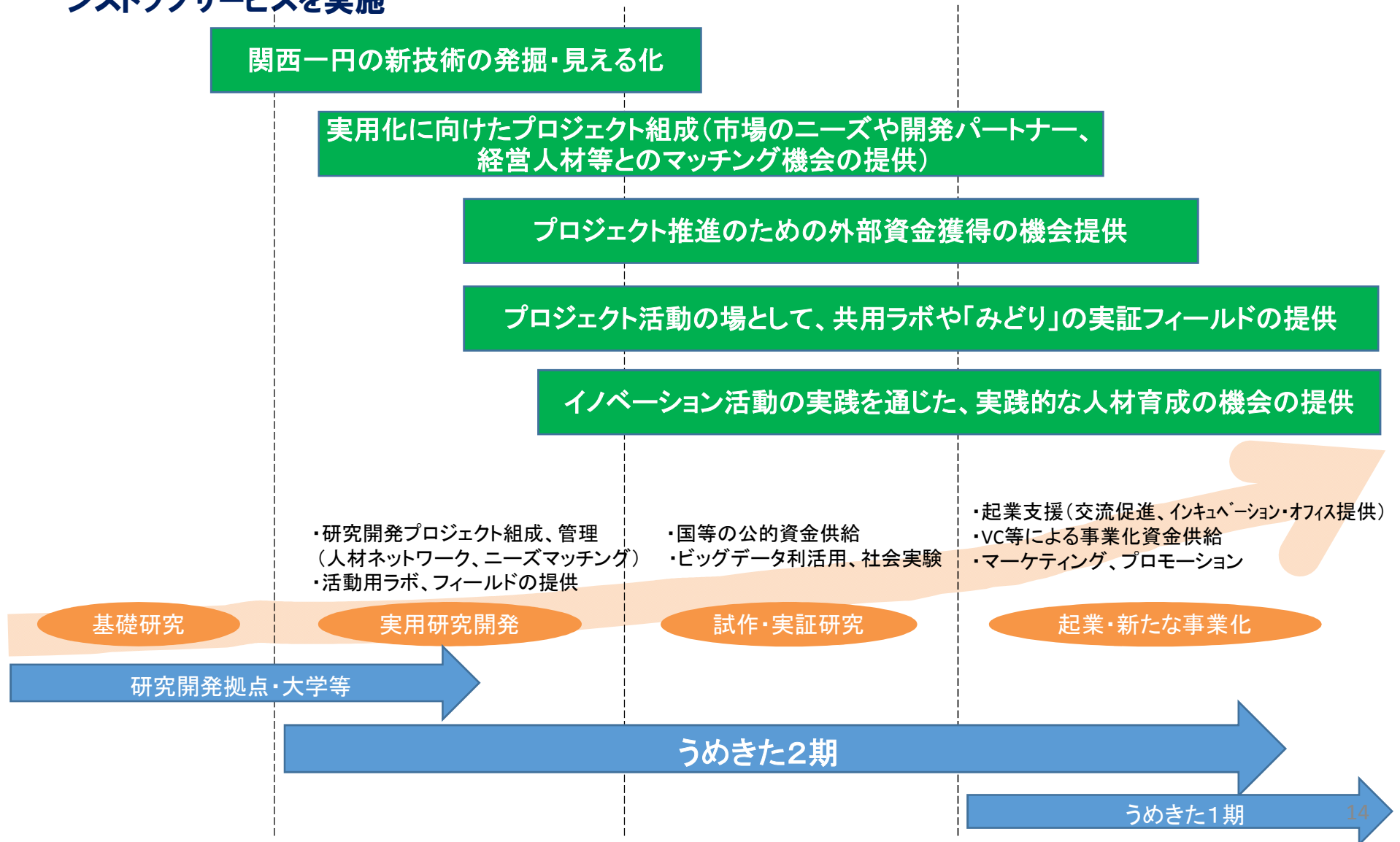
新産業創出機能の実現に向けて — 2期イノベーションプラットフォーム —



- ・うめきた2期では、ファンディングエージェンシーなど国の機関等の入居によるイノベーション創出支援事業や、複数の大学が連携した最先端の人材育成プログラムによる学びの場を提供
- ・イノベーション創出のための魅力的な支援メニューやファシリティを備え、関西の各拠点をはじめ世界から若者・研究者・起業家・投資家などの人材が集まり・交流し、ここに来なければ会えない「違う世界の人と人」を結び付ける機会を提供

総合コーディネート機関が果たす役割

- 総合コーディネート機関とは、プラットフォーム施設の中心的役割を担う「世話役」組織であり、新技術を持つ研究者や事業家など多様な人材を繋げ、研究開発等のプロジェクト創出をコーディネートするワンストップサービスを実施



関西の「ハブ」となり、技術の橋渡し役となるうめきた

■ 関西の優れた研究開発拠点をつなぐハブとして、生み出された技術シーズと幅広い産業・ユーザーをつなぎ、関西全体の活性化に貢献

うめきた

イノベーションプラットフォーム

・関西のハブ

- ・知と人材の交流（人材ネットワーク・ニーズマッチング）
- ・研究開発プロジェクトの組成
- ・ビッグデータ収集・利活用、社会実験
- ・ファンディングエージェンシー等による資金等の供給
- ・事業化等に関する情報発信 など



神戸医療産業都市
理研など

中之島

北大阪地区
産総研・大阪大学など

けいはんな
学研都市

大阪市大
大阪府大など

神戸医療
産業都市

中之島地区

北大阪地区

けいはんな
学研都市

理化学
研究所

大阪
大学

府大
市大

京都
大学

- ・基礎研究
- ・臨床研究
- ・人材育成・教育 など

関空

うめきた 2 期のまちづくり ～スケジュール～

2015(平成27)年1月	地下化・新駅事業開始
2015(平成27)年3月	「まちづくりの方針」決定
2015(平成27)年10月	URがJRTT用地を取得
2015(平成27)年11月	土地区画整理事業開始
2017(平成29)年6月	みどりとイノベーションの融合 拠点形成推進協議会設立
2017(平成29)年冬	民間提案 2 次募集開始
2018(平成30)年夏	民間提案事業者決定
2023(平成35)年春	新駅開業・地下化切替
2024(平成36)年夏	まちの概成 (先行まちびらき)
2026(平成38)年度末	基盤整備終了